

Ⅱ 教育研究活動報告 (1992年9月－1994年3月)

1 研究例会

第3回 日本語教育と辞書 飛田良文 1992年9月16日

第4回 第1部 ワークショップ C A I 体験学習

第2部 日本語教育プログラムにおけるC A I の導入－その意義と方法－

鈴木庸子 1992年10月16日

第5回 異文化適応と国際理解教育を目的とした日本語教育

－高校留学生の日本語指導書の開発

村野良子 1993年2月12日

第6回 Motivation and Culture in Adult Second Language Education

James F. Valentine, Jr. 1993年8月3日

2 夏期日本語教育

1993年度夏期日本語教育は1993年7月5日から8月14日（土曜日）まで行われた。

ディレクター・教務主任 George D. Bedell

教務係およびコースヘッド 村野良子

鈴木庸子

文化プログラム主任 小川貴士

受講者 26か国 132名

教師 30名

1) 受講者内訳

	男	女	計
一般学生	28	46	74
I C U職員(IF)	1	0	1
“プログラム” 学生	28	29	57

〈内訳〉

交換留学生 (UC)	13	16	29
交換留学生 (PM)	3	1	4
交換留学生 (CAMBRIDGE)	0	1	1
ROTARY奨学生	5	8	13
CIBER	7	3	10
計	57	75	132

2) 受講者国籍

Austria	1	Bangladesh	1	Canada	3
Denmark	1	Egypt/France	1	France	1
Germany	5	Hong Kong	4	India	1
Indonesia	1	Italy	1	Japan	5
Korea	2	The Netherlands	1	Norway	1
Poland	1	Singapore	2	Spain	2
Switzerland	1	Taiwan R.O.C.	7	Tonga	1
UK	4	USA	82	USA/Japan	1
USA/Thailand	1	Venezuela	1		
					計 132

3) 教師一覧 (所属は1993年7月1日現在)

鈴木庸子	ICU 講師
正宗鈴香	
村上 恵	広島大学院生
藤原恵美	Washington University 講師
堀田泰司	ノックス大学講師
中沢佐企子	早稲田大学日本語研究センター・横浜市立大学・明治大学 (非常勤)
萩原順子	国際教育振興会日米会話学院・帝京大学留学生別科 (非常勤)
田口江身子	ICU JLP (非常勤)
大野春見	ICU JLP (非常勤)
文野峯子	東京国際大学・早稲田大学・慶應義塾大学 (非常勤)
小沢伊久美	ICU JLP 副手、白梅学園短期大学 (非常勤)
鈴木美与子	オレゴン大学 講師
西谷まり	国際学友会日本語学校・上智大学 (非常勤)

村野良子 ICU講師
 江崎裕子 ICU JLP (非常勤)、立教大学国際センター (嘱託)
 高嶋真理子 ICU JLP・産能短大留学生別科 (非常勤)
 城 佳子 University of Iowa (TA)
 平形裕紀子 東京国際大学 (非常勤)
 横須賀柳子 ICU JLP (非常勤)
 杉浦由紀子 ICU JLP・専修大学 (非常勤)
 渡辺久美 ICU語学科 副手、大成建設・東京国際大学附属日本語学校 (非常勤)
 横山杉子 東京大学留学生教育センター (非常勤)
 星野浩子 ICU JLP・早稲田大学国際部 (非常勤)
 田口雅子 ICU JLP・青山学院短大 (非常勤)
 河元由美子 ICU JLP・早稲田大学 (非常勤)
 星野修子 東京大学留学生教育センター、大東文化大、電機通信大学留学生センター (非常勤)
 桐生新子 早稲田大学 (非常勤)
 佐野ひろみ (株)エービーシー (スーパーバイザー)、(株)Jalcos, JALアカデミー主任
 菅野真佐子 中央大学 (非常勤)
 原後弥佳 Amherst College (TA)

3 国際基督教大学日本語教育40周年記念研究会

プログラム

1994年3月26日 (土)

[午前の部] (10:00 - 12:00) (本館262室)

シンポジウム

初級教材の課題—「文化初級日本語」、「新日本語の基礎」、「Situational Functional Japanese」、「ICU初級日本語」をめぐって

司会

中村妙子

パネリスト

三国純子 文化外国語専門学校専任講師
 有馬俊子 スリーエーネットワーク主任講師
 加納千恵子 筑波大学留学生センター専任講師

村野良子 国際基督教大学専任講師

コメンテーター

佐々木倫子 国立国語研究所日本語教育センター第二研究室長

[午後の部] (13:00 - 15:20)

研究発表

第一会場 (本館213室)

司会：カッケンブッシュ寛子

日本語の小説における語り方についての試論－村上春樹の『風の歌を聴け』と村上龍の『限りなく透明に近いブルー』の分析を中心に 小沢伊久美 (国際基督教大学)

漢字学習における認知エキスパートの情報処理特性に関する研究－非漢字系日本語学習者に対する調査 高木裕子 (山形大学)

日本語学習者の漢字語の意味認識について－ひらがなおよびローマ字表記の語との比較 宮城幸枝、中村フサ子、樽田ミエ子、木下直子、増谷祐美 (東海大学)

第二会場 (本館262室)

司会：広瀬正宜

ICUのキャンパスことばにおける新入生の使用率に関する研究

藤本泉 (筑波大学)、森祐治、柴田協子

日本語予備教育における講義聴解に関する実験的研究－語彙の提示と背景的知識の提示による効果の比較を中心に 池田伸子 (国際基督教大学)

第二言語習得研究と日本語教育－学習の個別性への対応に向けて 林さと子 (津田塾大学)

記念講演(15:30 - 16:40) (本館262室)

司会 飛田良文

挨拶 勝見允行 国際基督教大学学務副学長

祝辞 小出詞子 姫路獨協大学教授

基調講演「日本語教育の将来」 水谷 修 国立国語研究所長

お茶の会(16:50 - 17:30) (本館 2 階中央ロビー)

司会 村野良子

4 日記抄

1992年

- 9月 8日 ICU RCJLEセンターニュース No.1 発行
16日 第3回 研究例会 飛田良文「日本語教育と辞書」
10月 8日 ICU RCJLEセンターニュース No.2 発行
16日 第4回 研究例会 鈴木庸子「第1部 ワークショップ CAI体験学習」
「第2部日本語教育プログラムにおけるCAIの導入-その意義と方法」
12月16日 第4回 運営評議会
12月31日 『ICU夏期日本語教育論集 9』発行

1993年

- 2月12日 第5回 研究例会 村野良子「異文化適応と国際理解教育を目的とした日本語教育 -高校留学生の日本語指導書の開発」
2月17日 第5回 運営評議会
3月31日 稲垣滋子教授 センター長 退任
4月 1日 飛田良文教授 センター長 就任
George D. Bedell教授 夏期日本語教育プログラムディレクター就任
(4月1日より8月31日、12月1日～3月31日)
4月 6日 第1回 夏期日本語教育会議
4月23日 第2回 夏期日本語教育会議
5月14日 第3回 夏期日本語教育会議
6月 4日 第4回 夏期日本語教育会議
6月25日 第5回 夏期日本語教育会議
8月 3日 第6回 研究例会 James F. Valentine, Jr. 「Motivation and Culture in Adult Second Language Education」
8月28日 見学：日本語教育学会「日本語教育研修会理論課程」研修生20名 および引率者3名
9月29日 第6回 夏期日本語教育会議 1993年度反省会
10月 5日 センター教員会議
10月12日 センター教員会議
10月19日 センター教員会議
10月26日 センター教員会議
センターの担当業務について討議した。

- センター会議の議事録ノートを作ることにした。
- 11月 9日 センター教員会議
- 11月16日 センター教員会議
- 夏期日本語教育でCIBERプログラムを開講すること、講師に佐野ひろみ氏を依頼することを承認した。
- 11月22日 センター教員会議
- 12月14日 センター教員会議
- 夏期日本語教育には夏期日本語教育ディレクター、教務主任、文化プログラム主任、主任講師をおくことを決定した。
- 12月21日 センター教員会議
- 1994年
- 1月11日 センター教員会議
- 夏期日本語教育ディレクター及び教務主任の任期を9月1日から翌年の8月31日までとすることを決定した。
- 1月14日 第6回 日本語教育研究センター運営評議会
- 1月18日 センター教員会議
- 1月25日 センター教員会議
- 1994年度夏期日本語教育の教務主任は田中真理、主任講師は尾崎久美子が担当することを承認した。
- 1月28日 RCJLE/JLP CAIプロジェクト主催 第1回「コンピュータを利用した教育」勉強会「マックリーダーの使い方」
- 2月 1日 センター教員会議
- 2月 4日 第7回 日本語教育研究センター運営評議会
- 2月 8日 センター教員会議
- 『夏期日本語教育論集』の編集方針及び投稿論文の査読を2名で行うことを決定した。
- 2月15日 センター教員会議
- センター紀要の投稿規定が承認された。
- 夏期日本語教育文化プログラム主任の任期は9月1日より翌年8月31日までとすることを決定した。
- 2月25日 第2回「コンピュータを利用した教育」勉強会
- 「NHKニュースクリプトをパソコン通信で入手する方法について」

- 3月26日 国際基督教大学日本語教育40周年記念研究会
3月31日 『ICU夏期日本語教育論集 10』発行
日本語教育研究センター『紀要 3』発行
第3回「コンピュータを利用した教育」勉強会
「音声分析ソフト“signalize”について」

5 日本語教育研究センター『紀要』編集委員会規約

1. 紀要編集委員会は『ICU日本語教育研究センター紀要』の編集発行に関する事項を審議する。紀要の発行は、原則として年1回とする。
2. 編集委員会は三名で構成し、編集委員長は日本語教育研究センター長が兼務する。委員二名は日本語教育研究センター教員の中から選ぶ。
3. 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
4. 編集委員は、投稿論文を審査する。審査にあたっては、学内あるいは学外の専門家に査読を委託することができる。
5. 編集委員は、本紀要の出版について印刷所、出版社との交渉の責任を持つ。
6. 編集実務は日本語教育研究センター事務室が行う。

(1994年2月15日決定)

6 ICU日本語教育研究センター『紀要』投稿規定

1. 資格：ICU日本語教育・日本語学関係の常勤・非常勤教員。
共著の場合は、筆頭執筆者が上記の資格に該当すること。
なお、依頼原稿はこの限りではない。
2. 論文等の種類：
 - (1)研究論文……日本語及び日本語教育に関する独創的な研究で、次のいずれかに該当する未発表のもの。
 - i)日本語教育
 - ii)日本語研究及びその関連分野
 - a)論文の分量：原則として次のように定める。
 - *日本語の場合……資料・図表・注などをふくめて400字詰原稿用紙30～50枚程度。ワープロでは36字×30行横書きで印字。
 - *英語の場合……ダブルスペース25行タイプ打ちで図表などを含め、35枚程度。
 - b)キーワード：論文の中から5語以内のキーワード・リストをつける。（日本語論文

の場合は日本語、英文論文の場合は英語のこと)。

c)要旨：和文（600字以内）と英文（300語以内）両方をつける。

(2)書評・紹介等。

(3)報告……………授業報告、海外機関の視察報告、センター記録など。

(4)特集……………必要に応じて企画する。

3. 使用言語：日本語または英語。

4. 審査：編集委員会が採否を決定する。

5. 原稿提出先：ICU日本語教育研究センター事務室（IN-104号室）

（付）原稿執筆の手引き

1. 原稿の冒頭には、表題、著者名を入れる。（提出時には鉛筆で日付と内容の別を書いておくこと）。
2. キーワード・要旨を入れる。（投稿規定参照）。
3. 参考文献及び注記は、論文の終わりにまとめる。脚注とはしない。
4. 参考文献の書き方は、学会誌『日本語教育』『言語研究』『国語学』のいずれ かによる。

（1994年2月15日決定）

7 日本語教育研究センター教員研究活動報告（1992年9月から1994年3月）

稲垣滋子

ロシア出張中（国際交流基金より派遣 モスクワ大学）

飛田良文

研究論文

1. 「森島忠良撰『類聚紅毛語譯』の成立について」『日蘭学会会誌』第35号, 1993年10月, pp.1 - 30.

著書

1. 『東京語成立史の研究』東京堂出版, 1992年9月, 目次17頁, 本文898頁.

報告

- 1.『国語学研究文献のキーワードによる検索システムの開発』平成3年度科研費補助金（試験研究B）研究成果報告書（代表築島裕 研究分担者飛田良文），1992年3月.

教科書

- 1.『ICU初級日本語』国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編,1993年6月.

辞書

- 1.『国字の字典』（飛田良文監修 菅原義三編）東京堂出版,1993年7月増補版.
- 2.「和英語林集成」『日本史大事典』第6巻,平凡社,1994年2月18日.
- 3.「慣用句」渡辺富美雄、村石昭三、加部佐助編『日本語解釈活用事典』ぎょうせい, 1993年7月,p39 - 41.

その他の出版物

- 1.「加藤信明君を偲んで」上智大学十年会編集『水脈 mio 加藤信明追悼集』1992年11月,pp.22 - 24.
- 2.「新刊自己紹介『東京語成立史の研究』」『日本語学』平成5年2月号, 1993年2月,P.113
- 3.「大学生の言葉感覚」公明新聞（日曜版）1993年5月2日
- 4.「女体の慣用句大図解」（インタビュー）『SPA』,1993年5月5,25日合併号.
- 5.「これが犯人像だ」（インタビュー）夕刊フジ,1993年8月19日版.
- 6.『国語論究 第4集 現代語・方言の研究』佐藤喜代治編（編集委員）,明治書院, 1994年2月28日.

研究発表

- 1.「日本語教育と辞書」日本語教育研究センター第3回研究例会1992年9月16日

講演・放送

- 1.「標準語の成立をめぐって」福島大学国語国文学会 1992年11月15日
- 2.「日本語の歴史」板橋区仲町福祉センター教養講座第4回「ことぶき大学」1993年3月4日
- 3.「江戸語から東京語へ」國學院大学国語研究会 1993年11月27日
- 4.「ら抜き言葉」TBSテレビ『純メッキ』,1994年1月7日.

George D. Bedell

研究論文

1. “Properties of Syntactic Subjects” 『ICU日本語教育センター紀要』 2号,1992年8月, pp.220 - 34.
2. “Did We Meet Before We Kissed? (and other brief discourses)” 『語学研究』 Vol.7, 国際基督教大学語学科,1993年3月,pp.1 - 18.

教科書

1. 『ICU初級日本語』 国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編,1993年6月.

講演

1. 「室町時代宣教師の日本語研究」 日本語教育学会, 国際基督教大学(1993年5月29日).

Hiroko Chinen Quackenbush

研究論文

1. 「パーソナルコンピュータによる日本語の韻律知覚の指導」 (水町伊佐男、深田昭三、伊藤克浩、細田和雅、今田滋子、熊取谷哲男と共著) 『日本語教育』 78号,1992年11月, pp.79 - 91.
2. 「日本語教育方法論」 奥田邦男編 『日本語教育学』 (教職科学講座25), 福村出版,1992年9月, pp.23 - 32.
3. 「外来語分析の課題——規則性と例外について」 『日本語研究と日本語教育』 カッケンブッシュ寛子・尾崎明人・鹿島央・藤原雅憲・靱山洋介編,名古屋大学 出版会,1992年10月, pp.237 - 250.

編著

1. 『日本語研究と日本語教育』 カッケンブッシュ寛子・尾崎明人・鹿島央・藤原雅憲・靱山洋介編,名古屋大学出版会,1992年10月,目次3頁,本文333頁.

報告

1. 「日本語韻律知覚訓練のためのC A I用モデル発話の作成」 (今田滋子、熊取谷哲男と

- 共著)『日本語音声教育の社会言語学的言語工学的研究』平成4年度科学研究費重点領域研究(2),1992年9月,pp.23-51.
2. “Prosodic Politeness Features in Japanese and English-Speaking Learners of Japanese”(熊取谷哲夫と共著)『日本語音声教育の社会言語学的言語工学的研究』平成4年度科学研究費補助金重点領域研究(2),1992年9月,pp.77-87.
- 3.『日本語教育のための外来語支援CALLシステムの開発・研究』(研究代表者カッケンブッシュ寛子,深田淳と共著)平成2-4年度文部省科学研究費補助一般研究(B)報告書,1993年3月,pp.1-111.

書評・展望

- 1.「展望——これからの日本語副教材」『国際文化フォーラム通信』Vol.20, 1993年9月,p.7.

その他の出版物

1. Kodansha Nihongo Folktale Series:(General Editor)
1)Momotaro, 2)Runaway Rice Balls,3)Grateful Crane, 4)Animal Fables,
5)The Story of Snow White, 6)Cinderella.
Kodansha International,December,1993,31pages each book.
2. Hiragana in 48 Minutes, Planned by Hiroko Chinen Quackenbush and the Japan Forum, Produced by Procom, Japan. March 1994.

講演・放送

1. “Japanese Folktales as Supplementary Teaching Materials for Australian Schools”,Eighth Biennial Conference of the Japanese Studies Association of Australia,University of Newcastle (July 10,1993).
- 2.「オーストラリアにおけるLOTE (Languages Other Than English)」『日本語教育セミナー』在日オーストラリア大使館主催,セレブレート・オーストラリア行事(1993年11月11日).
- 3.「言語・文化接触と日本語教育」東京学芸大学海外帰国子女教育研究センター主催シンポジウム『接触のインパクトー言語・文化接触と国際教育』東京学芸大学(1994年1月22日).
- 4.「外来語の日本語化規則とその習得ーデータ収集と分析上の問題点ー」第二言語習得研究会,お茶の水女子大学(1994年2月19日).

廣瀬正宜

教科書

- 1.『ICU初級日本語』国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編,1993年6月.

辞書

- 1.『日本語学習使い分け辞典 Effective Usage Guide』講談社,1993年3月

講演

1. 国際交流基金派遣ハンガリーおよびロシア巡回日本語教育セミナー「日本語の文法、語用、教授法について」ハンガリー外国貿易大学（ブダペスト市）,モスクワ大学（モスクワ市）で講義・ワークショップを行う(1993年3月11日－3月24日).

中村妙子

研究論文

- 1.「ただいま日本語授業中－言語理論の変化のなかで－」『国文学』Vol.38,学燈社,1993年11月,pp.131 - 133.
- 2.「日本語教授法におけるチューター制について」『ICU日本語教育研究センター紀要』3号,国際基督教大学日本語教育研究センター,1994年3月 pp.1 - 10

教科書

- 1.『ICU初級日本語』国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編,1993年6月.

根津真知子

研究論文

- 1.「外国語教育での学習項目の難易度－日本語の待遇表現の教授法について－」『語学研究』Vol.7,国際基督教大学教養学部語学科,1993年3月,pp.121 - 130.
- 2.「アメリカでの日本語教育の現状」『国文学』第38巻12号,1993年11月, pp.134 - 137.

報告

1. 「国際基督教大学における日本語教育教員養成のためのプログラム」『平成四年度文化庁日本語教育研究委嘱日本語教師養成・研修プログラムにおける実習教育の在り方に関する調査研究－中間報告書－』日本語教育学会,1993年3月,pp.62 - 70.

教科書

1. 『ICU初級日本語』国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編,1993年6月.

研究発表

1. 「日本語教師養成における実習教育－アプローチと今後の課題」(シンポジウムのパネリスト),平成四年度日本語教育学会秋季大会,南山大学(1992年10月4日).

講演

「異文化体験－日米文化の比較」,三鷹国際交流協会(1993年1月29日).

中村一郎

報告

1. “Report of the Japanese Language Group” (with Hiroshi, Nara) REPORT ON THE IES/IAS FACULTY DEVELOPMENT SEMINAR LANGUAGE LEARNING AND STUDY ABROAD, Institute of European Studies, 1993,pp.36 - 39.

教科書

1. 『ICU初級日本語』国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編,1993年6月.

平田 泉

報告

1. 「1992SCJL教務係報告」『ICU夏期日本語教育論集』Vol.9,日本語教育研究センター,1992年12月,pp.3 - 14.

2. 「BASIC II」 『ICU夏期日本語教育論集』 Vol.9, 日本語教育研究センター, 1992年12月, pp.27 - 35.

教科書

1. 『ICU初級日本語』 国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編, 1993年6月.

書評

1. 「作文全般の教科書的なもの」 『日本語教育通信』 17号, 1994年, 財団法人国際文化フォーラム編集協力, 国際交流基金日本語国際センター発行・編 1994年2月.

講演

1. 「語学教育と異文化交流」 (計6回) 1993年度世界青年の船セミナー (1993年1月20日 - 3月21日).

村野良子

研究論文

1. 「プレースメントの満足度にかかわる学習者の心理的要因」 『ICU夏期日本語教育論集』 Vol.10, ICU日本語教育研究センター, 1994年3月.
2. 「外国人高校留学生在が日本語学習者としてもつ特性と制約」 『ICU日本語教育研究センター紀要』 3号, ICU日本語教育研究センター, 1994年3月 pp.11 - 28

報告

1. 「夏期日本語教育中級 I の概要」 『ICU夏期日本語教育論集』 Vol.10, ICU日本語教育研究センター, 1994年3月.
2. 「夏期日本語教育教務報告」 『ICU夏期日本語教育論集』 Vol.10, ICU日本語教育研究センター, 1994年3月.

教科書

1. “Listen and Practice Japanese” (村野良子・谷道まや共著) AFS日本協会, 1992年11月.
2. 『留学生の12か月』 (村野良子・谷道まや共著) 凡人社, 1993年8月.

- 3.『ICU初級日本語』国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編,1993年6月.

翻訳

- 1.「ACTFL - OPI 試験官養成用マニュアル」ALC,1993年8月.

書評

- 1.「中級日本語教科書－『続・「読み」への挑戦』紹介」『日本語教育通信』国際交流基金,1993年12月.

その他の出版物

- 1.「Listen and Practice Japanese」オーディオカセット46分,AFS日本協会,1992年11月.
- 2.「誤用例で文法対策」『日本語教師読本シリーズ23』アルク,1992年10月, pp.132 - 138.
- 3.「教科書選びのための基礎知識」『日本語教師読本シリーズ24』アルク,1993年2月,pp. 40 - 46.
- 4.『留学生の12か月』オーディオカセット70分,凡人社,1993年.

研究発表

- 1.「高校生のための日本語指導書の開発」日本語教育学会秋季大会(1992年10月).
- 2.「高校留学生に対する言語の指導－Introducing Cultural Aspects in Teaching Materials」JALT93第19回全国語学教育学会国際大会 1993年10月.

講演

- 1.「中学、高校留学生に対する日本語教授法」日本語サロン実践日本語教育セミナー, 凡人社(1994年2月).
2. ICU日本語教育40周年シンポジウム(パネリスト),国際基督教大学(1994年3月26日).

小川貴士

研究論文

- 1.「読みにおけるコミュニケーション・アプローチについて－上級クラスの一試案－」『日本語教育』80号,1993年7月,pp.136 - 145.

報告

1. 「1992年度文化プログラム報告」『ICU夏期日本語教育論集』Vol.9,ICU日本語教育研究センター,1992年12月,pp.21 - 24.
2. 「1993年度文化プログラム報告」『ICU夏期日本語教育論集』Vol.10,ICU日本語教育研究センター,1994年3月

教科書

1. 『ICU初級日本語』国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編,1993年6月.

書評

1. 「『日本語要説』工藤浩ら著の紹介」『言語』1993年12月号,大修館書店,pp.138 - 139.

尾崎（渡辺）久美子

研究論文

1. 「ニコライ述『基督教分派論』について」（小磯京子、中島昭子、小川早百合と共著）『キリスト教史学』第47集,1993年7月,pp.97 - 103.

報告

1. 「CMS宣教師による報告・書簡類について」『キリスト教史学会報』No.109,1993年12月.

教科書

1. 『ICU初級日本語』国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編,1993年6月.

書評

1. 「漢字学習者のための教材：『漢字の道』『漢字がたのしくなる本』『日本語教育通信』第16号,国際交流基金日本語国際センター,1993年8月.

その他の出版物

1. 海老沢有道著 海老沢ゼミナール編『あびすとら』（編集担当尾崎久美子他）, 1994年1

月

研究発表

1. 「ニコライ述『基督教分派論』について」(小川早百合、小磯京子、中島昭子との共同研究)キリスト教史学会第43回大会(1992年9月19日).

鈴木庸子

報告

1. 「1992年中級準備コース報告書」『ICU夏期日本語教育論集』Vol.9,日本語教育研究センター,1992年12月,pp.44 - 59.
2. 「パソコンルームの開室について」『ICU夏期日本語教育論集』Vol.9,日本語教育研究センター,1992年12月,pp.15 - 17.
3. 「《日本語教育におけるCAIの利用》ワークショップの開催について」『ICU夏期日本語教育論集』Vol.9,日本語教育研究センター,1992年12月, pp.18-20.
4. 「1992年度日本語教育プログラムにおけるCAI導入に関する報告」『語学研究』Vol.7, 国際基督教大学教養学部語学科,1993年3月,pp.151 - 155.
5. 「BasicII」『ICU夏期日本語教育論集』Vol.10,ICU日本語教育研究センター,1994年3月
6. 「1993年夏期日本語教育コンピュータ端末室の利用について」『ICU夏期日本語教育論集』Vol.10,ICU日本語教育研究センター,1994年3月

教科書

1. 『ICU初級日本語』国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編,1993年6月.

研究発表

1. 「日本語教育プログラムにおけるCAIの導入ーその意義と方法ー」ワークショップ: CAI体験学習,於国際基督教大学(1992年10月16日).
2. 「『選挙のニュース』聴解練習用CAIの開発」(南雲弥恵子、田中小静と共同研究)日本語教育学会視聴覚教育研究会1992年度第3会研究例会,東京外国語大学留学生日本語教育センター(1992年12月19日).

田中真理

研究論文

1. “A Study of JFL Students’ Interlanguage: An Analysis of the use of the Passive in Complex/Compound Sentences ” 『語学研究』 Vol.8, 国際基督教大学語学科, 1994年3月
2. 「初級学習者の自己修正の意識化ーオーラル練習を通してー」 『ICU日本語教育研究センター紀要』 3号, ICU日本語教育研究センター, 1994年3月

教科書

1. 『ICU初級日本語』 国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編, 1993年6月.

その他出版物

1. 「対照言語学概説および日本語ー英語対照研究のポイント」 『日本語教育能力検定試験徹底分析ー合格するための本’94ー』 アルク, 1993年6月, pp.115 - 121.
2. 「対照言語学練習問題」 『日本語教育能力検定試験徹底分析 - 合格するための本 - ’94』 アルク, 1993年6月, pp.124 - 130.

山下早代子

著書

1. 『日本語教育能力検定試験：傾向徹底分析問題集1』（「実習」分担執筆）アルク, 1992年1月, pp.185 - 190.

報告

1. 「試用報告：中級映像教材」 『映像教材モニター報告書』 国立国語研究所, 1992年4月, pp.131 - 143.

教科書

1. 『ICU初級日本語』 国際基督教大学日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共編, 1993年6月.

翻訳

1. CINEX School Curriculum - - Teachers' Manual (教師用指導書), RCA Columbia, 1992年12月.

書評

1. 「Situational and Functional Japanese 筑波グループ日本語教科書」『月刊日本語』アルク, 1992年7月, p.61.

その他の出版物

1. 「日本語教育実習における教師と学生のインターアクション」『平成5年度日本語教育学会予稿集』, 日本語教育学会, 1993年5月, pp.61 - 66.
2. 「日本語教育能力検定試験のために: 教材・教具論」『日本語教師読本』22 アルク, 1993年月, pp.85 - 86, pp.199 - 201.
3. 『日本語見る・聞く・話す』(協力) NHK放送研修センター, 1992年12月.

研究発表

1. 「日本語教育実習における教師と学生のインターアクション」日本語教育学会春期大会, 国際基督教大学(1993年5月30日).

8 受贈図書(1991年1月から1994年3月 受贈順)

小出詞子著 小出詞子著作集編集委員会編『日本語教育とともに』 1991年6月 凡人社
今田滋子編『日本語六-天声人語(1980年)より-』 1983年 ICU日本語教育プログラム
テキスト

国立国語研究所監修 日本語教師用参考書Ⅱ 『話しことばのコミュニケーション』 1988
年7月 凡人社

名古屋大学総合言語センター言語文化研究委員会編「ことばの科学 STUDIA
LINGUISTICA」第2号 1989年10月 名古屋大学総合言語センター言語文化研究委員
会

The Linguistic Society of America (ed.) LANGUAGE: Journal of The

Linguistic Society of America, Vol.66 No.1, March, 1990,

The Linguistic Society of America

筑波大学留学生センター編「筑波大学留学生センター日本語教育論集」第8号

1993年2月 筑波大学留学生センター

広島大学教育学部日本語教育学科編「広島大学日本語教育学科紀要」第3号

1993年3月 広島大学教育学部日本語教育学科

東京外国語大学外国語学部日本語学科研究室編「東京外国語大学日本語学科年報」14

1993年3月 東京外国語大学外国語学部日本語学科研究室

高見澤 孟『OFFICE JAPANESE:オフィスの日本語』1992年2月 アルク

東京日本語センター編『ことばは心と心の通じ合いー東京日本語センター30周年記念ー』

1993年6月 凡人社

東京日本語センター編「日本語学習の歩み」15号 1993年6月 東京日本語センター

創価大学別科編「創価大学別科紀要」第6号 1992年3月 創価大学別科

創価大学別科編「創価大学別科紀要」第7号 1993年7月 創価大学別科

京都大学言語学研究会編「言語学研究」第9号 1990年12月 京都大学言語学研究会

京都大学言語学研究会編「言語学研究」第11号 1992年12月 京都大学言語学研究会

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター編「紀要」16 1993年8月 アメリカ・カナダ

大学連合日本研究センター

東京学芸大学海外子女教育センター編「東京学芸大学海外子女教育センター研究紀要」第

7集 1993年7月 東京学芸大学海外子女教育センター

村野良子・谷道まや・村野聡共著『留学生の12ヵ月』 1993年8月 凡人社

財団法人言語文化研究所編「日本語教育研究」第25号 1991年12月 財団法人言語文化研究
所

財団法人言語文化研究所編「日本語教育研究」第26号 1993年10月 財団法人言語文化研究
所

池田伸子・落合太郎共著 創学社大学入試研究会編『小論文ー留学生のための大学入試シ
リーズ①』 1993年11月 国書刊行会

東呉大學日本語文學系・日本文化研究所編「日語教學研究國際研討會論文集」1993年6月
國家科學委員會

東呉大學日本文化研究所・日本語文學系編「東呉日本語教育」15 1992年7月 東呉大學日
本文化研究所・日本語文學系

東呉大學日本文化研究所・日本語文學系編「東呉日本語教育」16 1993年7月 東呉大學日
本文化研究所・日本語文學系

天理大学別科日本語科「天理大学別科日本語課程紀要」第5号 1994年1月 天理大学

中華民國日本語文學會編「台湾日本語文學報」4 1993年 中華民國日本語文學會
 中華民國日本語文學會編「台湾日本語文學報」5 1993年 中華民國日本語文學會
 国際交流基金編『DICCIONARIO BASICO JAPONES - ESPANOL 基礎日本語学習辞
 典（日本語・スペイン）』 1992年8月 国際交流基金
 国際交流基金編『DICCIONARIO BASICO JAPONES - PORTUGUES 基礎日本語学習
 辞典（日本語・ポルトガル）』 1992年5月 国際交流基金
 国際交流基金編『KAMUS ASAS BAHASA JEPUN - BAHASA MELAYU 基礎日本
 語学習辞典（日本語・マレーシア）』 1993年 国際交流基金
 国際交流基金編『日漢対照 基礎日本語学習辞典（日本語・中国語対照）』
 1992年6月 国際交流基金
 日本教材学会編「日本教材学会会報」8号 1991年3月 日本教材学会
 日本教材学会編「日本教材学会年報」第2巻 1991年3月 日本教材学会
 大阪外国語大学日本語学科編「日本語・日本文化研究」創刊号 1991年11月 大阪外国語大
 学日本語学科
 大阪外国語大学日本語学科編「日本語・日本文化研究」2号 1992年11月 大阪外国語大学
 日本語学科
 大阪外国語大学日本語学科編「日本語・日本文化研究」3号 1993年11月 大阪外国語大学
 日本語学科
 国際交流基金日本語国際センター編「日本語国際センター紀要」第2号 1992年3月 国際交
 流基金日本語国際センター
 東北大学教養学部外国人留学生日本語研修コース編「東北大学日本語教育研究論集」第4
 号 1989年12月 東北大学教養学部外国人留学生日本語研修コース
 東北大学教養学部外国人留学生日本語研修コース編「東北大学日本語教育研究論集」第7
 号 1993年3月 東北大学教養学部外国人留学生日本語研修コース
 東北大学文学部日本語学科編「東北大学文学部日本語学科－言語学・国語学・日本語教育
 学－」第1号 1991年9月 東北大学文学部日本語学科
 東北大学文学部日本語学科編「東北大学文学部日本語学科－言語学・国語学・日本語教育
 学－」第2号 1992年9月 東北大学文学部日本語学科
 東北大学文学部日本語学科編「東北大学文学部日本語学科－言語学・国語学・日本語教育
 学－」第3号 1993年9月 東北大学文学部日本語学科
 東京学芸大学海外子女教育センター編「在外教育施設における指導実践記録」第十六集
 1993年12月 東京学芸大学海外子女教育センター
 大東文化大学語学教育研究所編「語学教育研究論叢」第9号 1992年3月 大東文化大学語学
 教育研究所

文教大学国語研究室編「文教大学国文」第21号 1992年3月

文教大学国語研究室東京外国語大学外国語学部附属日本語学校編「日本語学校論集」17号

1990年12月 東京外国語大学外国語学部附属日本語学校

東京外国語大学外国語学部附属日本語学校編「日本語学校論集」18号 1992年3月東京外国語大学外国語学部附属日本語学校

東京外国語大学留学生センター「東京外語大学留学生日本語教育センター論集」19号

1993年3月 東京外国語大学留学生日本語教育センター

9 教員一覧

稲垣 滋子	教授・センター長(1993年3月まで)
飛田 良文	教授・センター長(1993年4月より)・紀要編集委員長
George D. Bedell	教授・夏期日本語教育ディレクター・教務主任
Quackenbush 寛子	教授 (1993年10月着任)
広瀬 正宜	準教授
中村 妙子	準教授
根津 真知子	準教授
中村 一郎	助教授
平田 泉	講師
村野 良子	講師・教務係
小川 貴士	講師
尾崎 久美子	講師
鈴木 庸子	講師・教務係・紀要編集委員
田中 真理	講師
山下 早代子	講師・紀要編集委員

* 日本語教育研究センター教員はすべて教養学部語学科と兼担である。

センター事務

岡田 勝子